

※本イメージの権利は株式会社三省堂が有し、個人で利用される場合に限り許諾します。商用利用は固く禁じます。

# 新明解

## 国語辞典 第八版

# 新明解

## 国語辞典 第八版

# 新明解

## 国語辞典 第八版

# 新明解

## 国語辞典 第八版

**おせち**②④〔御節〕正月・五節句などに使う料理。おせち料理④。〔狭義では、正月料理を指す〕

**おめでと**④⑤〔おめでと〕(感)「↑おめでとどういいます⑤」△喜び④と(新年)や、成功したこと、また勝利を得たことを祝う言葉。表記「『御目出⑤度う・御芽出⑤度う』は、借字。」

**がんにじつ**④⑤〔元日〕一年の最初の日。「国民の祝日」の一つ。一月一日。↓元旦④

**きんが**①〔謹賀〕「年賀状で」「↑新年④」の形で「謹んで新年を祝う意を表わす挨拶の言葉。」

**ことし**④〔今年〕△話し手(その人)が現に身を置いているその年。〔副詞的にも用いられる〕「↑の①②これから迎える。③過ぎ去った冬→ジョギングを始めた」表記「↓付表「今年」」

**さんがにち**③④〔三箇日〕特定の行事のある三日間。〔狭義では、元旦④から正月三日までの称〕表記「二ヶ日・三ヶ日・三が日」とも書く。

**しんねん**④〔新年〕新しい年。「↑を迎える」―宴会⑤・謹賀①

**スポーツのひ**②④〔スポーツの日〕「国民の祝日」の一つ。十月の第二月曜日。〔二〇二〇年「体育の日」を改称〕

**ぞうじ**④⑤〔掃除〕●一する(他サ)〔クワイ→サウ→ごみやほりなどを取り除いて、きれいにすること。〕〔害毒を流すものを根絶→掃する意にも用いられる〕一部屋を一掃③・掃き③・ふき③・大①●くみとり「の意の婉曲表現。」「↑屋④」表記「古くは「掃地・掃治」とも書いた。」

**ぞう**④⑤〔雑煮〕野菜・肉類などの入ったみそしる、または、すましじるなどに餅を入れたもの。多く、正月に食べる。「一餅③」

**そつぎょう**④⑤〔卒業〕↑する(自サ)〔なにヲ→する〕〔事業を完了する意〕●「より高い程度の課程に進んだりある資格を得たりするために」規定のその学科課程を終えること。

「卒業には↑はあるが、学問にはこれぞ↑ということはない」―式③・証書⑤・生③・演奏⑤・製作⑤・旅行⑤↑入学●思うところがあつて、それまで続けてきたことをやめること。「教師づとめをして作家稼業に専念することにした」―ろんぶん⑤〔論文〕大学卒業に当たって、提出して審査を受ける論文。略して「卒論」。

**ぞめ**①〔初め〕〔造語〕●初めて…すること。「食い―渡り」―●新年になって最初に、その動作をすること。「書き―笑い①④・歌い①④」

**としこし**④〔年越し〕↑する(自サ)古い年を送り、新しい年を迎えること。「おみそかの夜を指す。陰暦では節分の夜に当たる」―そば⑤

**としわすれ**③〔年忘れ〕↑する(自サ)その年の苦勞を慰勞すること(ための、年末の酒宴)。

**はつはる**④〔初春〕●春の初め。●「新年」の異称。

**はつゆめ**④〔初夢〕正月の△元日(二日)に見る夢。「↑富士鷹が三なすび」は、この時の夢とも、また、宝船の絵を枕の下に敷いて寝るとよい夢が見られるともいわれる」

**まつのうち**③〔松の内〕正月の松飾りのある間。元日から七日までを指す。

**やまのひ**④〔山の日〕「国民の祝日」の一つ。八月十一日。〔二〇二〇年は八月十日〕

**よろしく**④〔宜しく〕〔副〕●成行きに従って適切に対処して事をうまく進める様子。「君の判断であとは―頼む」彼女と―やってる」●「↑…べし」の形で「そうすることが必要であることを表す。」「↑反省(刷新)すべきだ」●〔副助詞的に〕いかにもそれに似つかわしいかっこをする様子。「多くは得意げな様子を表わす」だて男―ベレー帽をかぶる」●〔運用〕●「↑…さんよろしくお伝えください」などの形で、その場に居合わせない人に寄せる好意を伝えてもらおうとしたり、「今後とも)よろしくお願ひいたし(申し上げ)ます」などの形で、自分を見限ることなく長く付き合ってほしいと願う気持を表わしたりする、挨拶の言葉として用いられる。

**\*\*あける**④⑤〔明ける〕(自下二)一定の期間(の拘束された状態)が終わって、新しい状態が展開する。「夜が―〔一朝になる〕年④が―〔新しい年になる〕寒④が―〔年季が―〔奉公の契約期限が切れて、自由の身となる〕夜も日も明けぬ〔↓夜④〕/休暇が―〔年の場合の対義語は、暮れる〕〔明けても暮れても〕〔副詞的に〕毎日毎日同じ状態を続ける様子。」「一机に向かっている」

**いちようらいふく**④⑤〔一陽来復〕陰暦十一月の冬至④の日。〔俗に、冬が終わって春になる意や、逆境・不運などよくない事が続いた後ようやく幸運が向いて来る意にも用いられる〕

**うみのひ**④⑤〔海の日〕「国民の祝日」の一つ。二〇〇三年から七月の第三月曜日。〔もと、七月二十日〕